



# 東京日々新聞

九百六十七号



芝西應

寺町米

屋仙藏

可々強盗

二入押入所持

の金銭差出は

と云ひける仙藏

は夫と恐怖也

各々妻

と云ひ

彼の賊と見ま

思ひの外の小男とあれ怒ち

軽侮有り合せたる米俵と取て投げめく左の

腕と班とこれらも屈せざるを以て夫仙藏の妻と討せよと

賊と組付夫婦とせり組伏せ誰

来てと云と呼び立てよとぞ

一蕙齋  
竹方箋  
幾



此妻の聲とさうしつ走り来て此所へ引こ行つ  
るの賊の扱ふと云ふ者よて今一人の扱ふと  
勢ひと恐とさうしつせよと云ふ

人形 具足屋 渡辺彫深

